

令和7年度 北郷地区市長と語る会 議事要旨

- 日 時 令和7年8月19日（火）午後7時00分～午後9時00分
■場 所 北郷まちづくり会館
■出席者 25名
■意見交換会でのテーマ：交付金制度の在り方について

1. 市政報告会

1) 地域交通の利便性について

質問	坂東島で50代半ばや60代半ばの人が地区を出ていくことがあった。事情を聞くと、夫婦ともに65歳を過ぎてこれからどうなるか分からない、自動車免許証の返納もしないといけなくなった時、利便性の良いところに移りたいということだった。一人暮らしの高齢者が多くなった中で、本当に自分1人でやっていけるか分からないという不安がある。デマンドバスにより利便性が上がったと市から区へ説明をしていただいたが、まだ地区の中でその利便性が十分行き届いていないようだ。今後、区の担い手となる年齢の人たちが出ていくことは本当に残念だし心配している。色んな事を老人会でやろうとしても人が集まらない。他人と関わりたくないという考えを持つ人が多くなってきている様に感じる。どうするとよいか非常に気にかけている。 また、人から聞いた話だが、デマンドバスですこやかに行きたい場合、直接すこやかに行かず中部中学校の方に行ってしまう、そこからは徒歩で行くしかないのだそう。このことについて確認したい。
回答	今、多くの人が市外へ転出、あるいは村部からまちなかへ転居しており、その流れを止めることはできない。そして、全ての生活拠点を歩いていけるような環境を提供することはできない。だからこそ地域の中で話をしながら、暮らしやすさの維持をしていくことが大事だと思う。地区の中で生活コミュニティの在り方を考える必要がある。それに対して市の方でも相談、アドバイス等のサポートはさせていただきたい。
回答	現在、北郷、野向、荒土の3地区でデマンド運行を実験的に行っている状況。おっしゃっており、すこやかについては3地区の路線に乗っていないため直接到達できない。現在のところすこやかには中部中学校から歩いていただく必要があるが、令和9年4月のフルデマンドになった際には対応できる。
質問	デマンドバスに関して提案したい。上志比地区と北郷地区の最寄り駅は小舟渡駅または越前竹原駅になっている。上志比地区にはコミュニティバスがまわっている。例えばこのコミュニティバスを北郷地区にもまわってもらえると、わざわざデマンドバスを頼まなくても良い。市町を越えることにはなるが、そういったことも検討いただけないか。

回答

公共交通は自治体ごとにバス会社等が絡んだ厳しい管理がなされているので、なかなか難しいと思うが、意見があったことは持ち帰りたい。

2) 住みよい生活環境について

質問

空き家が毎年増えてきている。雪が多いからと出ていく人もいる。最近だと北郷ではクマが出ている。クマ、イノシシは全国的な問題だと思うが、そういった点でも住みやすいまちとは言えない。市だけでどうにもできないと思うので国にも要望すべき。

住みやすさという点では交通インフラは大事。勝山市の舗装路面は非常に悪いと思う。例えば伊波からコメリへ向かう4車線道路のひび割れが酷い。市の区長連合会から強く要望していけば通るのではないか。

上下水道の配管がしっかり維持されていくようにしてほしい。工事費がかかると使用料を上乗せするという話もでているため、勝山市のインフラの将来性について人口が減少しても大丈夫なのか。

回答

雪が原因で村を離れる人がいるとのことだが、雪の降る量を調整することはできないので、市としては屋根雪下ろしの事業や除雪体制の維持をしっかりとって雪に強いまちを作っていきたい。

4車線道路については1度確認し、奥越土木事務所に相談していきたい。常日頃から土木事務所とは連携をとっているが、こういった案件があれば個別に話をしにいくので、気軽に言っていただきたい。

上下水道インフラについては、おっしゃるとおりの部分はあるかもしれない。効率的な維持管理をする中、無理のかからない更新をしていく。使用料の見直し等を行いながら堅実で安定した企業会計を目指していく。

3) 河原の整備とガードレールの設置について

質問

坂東島の河原が荒れ放題。イノシシが堤防を崩し始めた。奥越土木事務所と村が話をする機会を設けてほしい。

今年、市荒川大橋の堤防から落ちた事故が3件もある。片側にガードレールをつけてほしい。

回答

区長さんを通じて詳しく状況を確認させてもらう。

4) 空き家の活用について

質問

高齢化が進んできており、空き家もこれから増えていく。既に空き家になっているところは景観が悪くなっている。こうした状況について市としての考えをお聞かせいただきたい。

高齢者だけが住んでいる世帯は空き家になりやすい。例えば市内の建設会社等の事業者にそういった物件を全国に広く紹介してもらうなど、何か有効利用していただくようなことはできないか。

回答	民泊などに転用するような話はよくある。空き家バンクに登録するとすぐ売れるところもあるが、ほとんどは価格が高くて買い手がつかない。取り壊すと費用がかなりかかるので、売るよりもタダで手放した方が良く考える人は増えている。もし、タダで手放したい物件の情報があればご相談いただきたい。
回答	市としては空き家対策として、空き家の発生を抑制することに取り組んでいる。他には空き家の利活用のため、空き家バンクへの登録促進、流通への活用促進、老朽した場合には解体補助を行っている。今後も十分周知して進めてまいりたい。
回答	危険な特定空き家の改修は条件が厳しいが、安全上の問題があるので個別の案件があればご相談いただきたい。また、事業者にもしっかり話をつないでいく。他にも、市内の宿泊施設が不足している中、民泊の需要はあると思う。ノウハウのある方も多いので、また相談していただきたい。
質問	民泊については、区長としては部外者が住んでいるような感じでストレスを感じる。治安やゴミの捨て方も心配だし、民泊事業者とコミュニケーションがとれないのが一番心配。
回答	もしコミュニケーションが取れていないのであれば、仲介したいと思う。ご不安があれば相談いただきたい。

2. 意見交換会

1) 交付金制度の在り方について

事前質問	少子高齢化等の問題に対し、例えばにこにこ交付金等で地域に問題解決を託されたとしても、高齢化もあり地域や集落では人がいないのが現状であり、市にはその相談に乗っていただきたい。
回答	当然、ご相談は受けさせていただく。 市では、まちづくり会館を活用した相談サポートを拡充したいと思っている。常勤職員に加え3名の地域担当職員を配置し、にこにこ地域づくり交付金の他、その他の補助金に関しても情報提供や相談支援等を行う。にこにこ地域づくり交付金の活用については、北郷地区では全体の61.5%を活用していただいております。市内でも活用が有効に進んでいる地区だと思う。地域づくりの検討会議では非常に活発に協議いただいている。今後もまちづくり会館を中心に支援や相談サポートをしっかりと対応させていただきたい。

2) 避難所について

質問	防災危機管理に関して、もし災害が起きて、岩屋川が決壊し鷲ヶ岳から土砂崩れが起きた場合、北郷まちづくり会館が避難所であっても、ここに来ることさえできない。となると孤立してしまうのが現状である。これに対し、坂東島や伊知地の会館があるが、災害によりつぶれてしまう可能性があり、本当に非難する場所がないことになる。このことについて検討いただき、何か良い提案があればいただきたい。
----	---

回答	川を渡って避難することは危険なので、まずは地域の集落センターに避難していただく。それが難しいと自宅で避難してもらう。今のところ岩屋川から福井方面には公共施設がないので市としても対策を考えなくてはならないが、まずは集落センターを活用いただきたい。自主防災組織で備蓄品を確保したいといったご提案も伺いたないので、よろしくお願いいたします。
回答	災害時には早めに避難いただきたい。特に大雨では移動できない状況にもなるので、避難誘導指示にしたがって早めの対策を各地区でお願いしたい。

3) 住民の安否把握について

質問	区としての集金が年2回あり、区費の請求日を届けに行ったところ、とある家のポストに2か月前の広報が入っている。変だと思って社協に電話したら、既に亡くなっていた。区長としては、区民の安否確認の把握もできないし、どの家に誰がいるのか分からないこともある。区長であっても全部を把握することができない。色んな事を区長として求められるがかなり負担に感じている。広報にしても配布のみだと良いが、他の機関紙や通知があると、それを組み合わせないといけない。 高齢者でもある程度スマホをもつ状況にある。例えば1週間に1度、アプリを使った安否確認ができるアプリの導入を考えてはどうか。
回答	孤独死等について、区長様方には大変気苦労をおかけしている。また、避難行動要支援者に関して、一人暮らし高齢者や障がいをもつ気配りな家庭の方を登録していただいている。登録いただくと市や福祉で情報を共有し、何かあった時にまず声かけをする仕組みもある。気配りな方に関しては、地区社協や民生委員と情報共有し、地区住民も一緒に見守る体制ができれば良い。 広報については枚数を減らす努力はしている。お知らせ版の方に集約を行っているが、今後デジタル化を利用していきたい。現在も広報はアプリで見ることができ、LINEでプッシュ型で見ることができる。登録を促進し、できるだけ紙を減らしていきたい。

4) 指定避難所以外の支援物資について

質問	昨年一昨年の豪雨では、あまり被害が無かったためよかった。万が一被害があった場合、岩屋川を渡れずまちづくり会館に来れないとなった場合、指定避難所への避難物資を優先し、それ以外は後回しという話を聞いたことがあるが、どうなのか。
回答	指定避難所ではないから物資は後回しにすることはない。しっかりと配慮するのでご心配は不要。

5) 行政協力員について

質問

行政協力員について詳しく聞きたい。一人の区長が複数の地区を担うといったこともできるのか。

回答

現在市では全区長に対し行政協力員として委嘱している。小規模の複数の区が区長を順番に出すというやり方もあるし、行事や作業を合同で一本化するという方法もあると思う。先ほどの説明では区長と行政協力員を区別し、行政協力員が複数の区を担当するという話だった。

しかし必ずしも一本化するというわけではなく一つの案として提案したい。村の共有財産、伝統があるためまとめることは難しいことも承知している。小規模多機能自治という話も出たが、北郷の中でいろんな話をしていただきたい。